

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	造園実習2	
科目基礎情報					
開設学科	土木・造園科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教材	造園施工必携 日本造園組合連合会				
担当教員情報					
担当教員	佐藤武久、谷合光男、池和田由紀		実務経験の有無・職種	有・造園施工	
学習目的					
石や竹など自然の素材の扱い方を理解すること、さまざまな技術を組み合わせて一つの庭園世界を構築する流れを体感することを学習目的とする。					
到達目標					
次の4点を到達目標とする。 ① 造園において重要な技術である石材や竹材等の取扱いについて理解する。 ② 準備・片付け・清掃も「しごとの一環」であることを理解する。 ③ 自分と考え方も能力も違う仲間とコミュニケーションをとって協働作業を成立させることができる。 ④ 安全かつ正確に作業を進めていくことの重要性を理解する。					
教育方法等					
授業概要	屋外での実習を基本とする。天候等により授業内容、順序等を変更する場合がある。実習中はメモ帳を携帯し、気づいたことはその場でメモを取り、教員に質問をしたり、テキストで復習をしたりすることを求める。この授業ではグループワークを採り入れる。教員主導ではなく、各グループがメンバー同士でコミュニケーションを取りながら課題に取り組むことを原則として、授業を進める。実習前の準備や実習後の片づけも重視する。				
注意点	実習には危険を伴う作業も含まれるため、レクチャー中および実習中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。服装は作業に適したものであること（サンダル、短パン等は認めない）。ヘルメットや手袋の着用など、教員の指示に従うこと。着替えは始業前に済ませておくこと。授業時間数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。				
評価方法	種別	割合	備考		
	課題	50%	実習課題への取り組みを総合的に評価する。		
	成果（実技）	20%	実習課題に対する到達度、成果を評価する。		
	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	ガイダンスおよび小庭園制作	意欲を持って庭園制作に取り組むことができる。			
2回	石の据え方	縁石、敷石、自然石の用途や特徴を知り、据えることができる。			
3回	シュロ縄の結び	いば結び、飾り結び等の結びができる。			
4回	花壇づくり①	構造物まで含む花壇の設計ができる。			
5回	花壇づくり②	グループワークにより花壇を制作することができる。			
6回	四つ目垣①	四つ目垣の制作方法を理解し、竹材の使い方を理解する。			
7回	四つ目垣②	四つ目垣をつくることができる。			
8回	剪定	透かし剪定の技法を理解し、安全かつ正確に作業ができる。			
9回	創作①	創作垣、土塀、版築塀など、創造性が要求される技術について理解する。			
10回	創作②	創作垣、土塀、版築塀などを制作できる。			
11回	創作③	創作垣、土塀、版築塀などを制作できる。			
12回	小庭園制作①	これまでの学習内容を総合して、小庭園の計画ができる。			
13回	小庭園制作②	これまでの学習内容を総合して、小庭園の制作ができる。			
14回	小庭園制作③	これまでの学習内容を総合して、小庭園の制作ができる。			
15回	小庭園制作④	これまでの学習内容を総合して、小庭園の制作ができる。			